

7/15
 大阪府歯科保険医協会
 敬 志岐 敬
 大 市浪速区幸町1-2-33
 電 話(06)6568-7731(代表)
 http://osk-net.org/
 2013年第1144号
 (毎月5、15、25日発行)

歯科医療政策アンケート結果概要

	自民	民主	維新	生活	共産	社民
◆歯科診療報酬を10%引き上げる	その他	その他	その他	その他	賛成	その他
◆歯科の保険給付範囲を拡大する	その他	その他	その他	その他	賛成	賛成
◆窓口負担を引き下げる	その他	その他	その他	賛成	賛成	賛成
◆70~74歳の窓口負担を1割に据え置く	その他	その他	その他	賛成	賛成	賛成
◆TPPへの参加反対について	その他	その他	その他	賛成	賛成	賛成
◆国の責任で被災3県の医療窓口負担を無料にする	その他	その他	その他	賛成	賛成	賛成

公明・みんなは無回答

2013参院選 歯科医療政策 アンケート

協会要望に

自民 民主 維新

賛否二不せず

共産すべて、社民7、生活4項目で賛成

協会の政策部は7月21日の参院選に向けて、各政党に「歯科医療政策アンケート」を実施した。共産党だけが協会の要望項目にすべて賛同するなか、自民・民主・維新の3党はすべて「その他」を選択し、賛否二不せず、あいまいな回答に終始した。

診療報酬10%増 共産のみ

アンケートは主要8政党に送付し、6月26日までに6政党から回答があった。設問は、診療報酬

の引き上げや窓口負担の軽減など8項目で、協会の要望に沿った内容で賛否を尋ねた。

共産だけが8項目すべてに賛成と回答し、社民は7、生活は4項目にそれぞれ賛成した。自民・民主・維新の3党はすべて「その他」を選び、賛否を示さなかった。公明と

みんなは無回答だった。「歯科診療報酬の10%引き上げ」では、共産だけが賛成し、「歯科診療報酬を不当に低く抑える政策が続いた結果、診療所の経営難は深刻。大幅な増額が必要」との問題意識を示した。残りの5政党はすべて「その他」を選択。そのなかで、民主・社民は引き上げには賛同するものの、改定率には踏み込まなかった。

「歯科の保険給付範囲の拡大」では、共産と社民が賛成で一致した。「安全・有効な治療法は保険適用」（共産）、「健康を守る上で必要なものは給付範囲を広げる」（社民）などの考えを表明。残る4党は「その他」を選んだ。そのなかでも、維新は「自由診療を基本」とすることを明記し、協会の要望と正反對の考え方を示した。

TPP参加の撤回については、「国民健康保険制度を崩壊させかねない」（生活）、「国民皆保険が実質的に解体される」（共産）、「農業分野も大打撃を受ける」（社民）として、それぞれ協会の要望に賛成した。残る3党は「その他」を選択。「国民皆保険の堅持など

基軸

日本の行方と 新福祉国家

一橋大学名誉教授 渡辺治



アベノミクス、構造改革の再起動と並ぶ安倍政権の政策の大きな柱は憲法改悪だ。改憲是非が参院選の大きな争点となることは間違いない。

ところで、安倍改憲は、いつもどろろとした新

は、いつもどろろとした新

国民を統制

これが国民に提案される

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。

いま、なぜ96条改憲？

本命は9条変え「戦争できる国」づくり

たな顔を持って登場している。改憲の本命である9条改憲を前面に出して訴えていることだ。96条は、憲法改正のた

これさえ通せば大阪城の外堀を埋めたのと同じ悪名で、自民党の「理想の」「戦争できる国家」像を打ち出している。い

危険が現実のものとなるのだ。自民党は、世界の国々は何度も改憲しているのに日本だけは改憲のハードルが高すぎるから戦後一度も改正されてい

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。

参院選特集

3面に歯科医療政策「政党アンケート」／4面に政策部長争点解説

今号にパンフを同封

ご活用ください

安倍政権で暮らし、医療はどうなる？

消費税と地域医療のこと

保団連は新パンフレット『安倍政権で暮らし、医療はどうなる？』と『消費税と地域医療のこと』を発行した。今号に同封し、会員に届ける。選挙の争点になっている消費税増税や社会保障「改革」、憲法改定問題などについて分かりやすくまとめている。

上顎第2大臼歯の歯内療法なんか高齢歯科医の手に負えるのか。そりゃし易い口や歯もある。患者が超高齢だとハイリスクで無理すると医療事故につながるから危ない。

中日の山本投手が47を過ぎてローテーション・投手で活躍している。相手打線が不調の時は完封だっつる。日頃の節制と細心の投球で結果を出すのだから、野手に助けられたと言っるのはお世辞で本心は歯内療法と同様に孤独と根気と気力の3Kだつる。

山本投手は間違いなく他業種の現役高齢者に勇気を与えている。

歯内療法に似た孤独作業の典型だった小説家も変わった。浅田次郎は15人もの編集者にホテルで任詰めになされて執筆する。「もう一度、昔の小説家らしく書いてみたい」と述懐している。小松左京の『日本沈没』は多岐な取材を自分でして書いたが、後の『日本沈没第二部』ではプロジェクタ・チームを結成して小松フランド下で20歳も若い合甲州が志を執筆した。